

2020年 1月26日

@ベルサール六本木グランドコンファレンスセンター

フューチャー・デザイン・ワークショップ2020

**2019年の実践を通じたFD手法開発と  
時間選好・リスク選好に及ぼす将来世代インパクト  
～松本市における実践と佐久穂町における準備作業～**

井上 信宏

(信州大学経法学部)



FACULTY OF ECONOMICS AND LAW  
SHINSHU UNIVERSITY

# 松本市における実践を通じたFD手法の開発

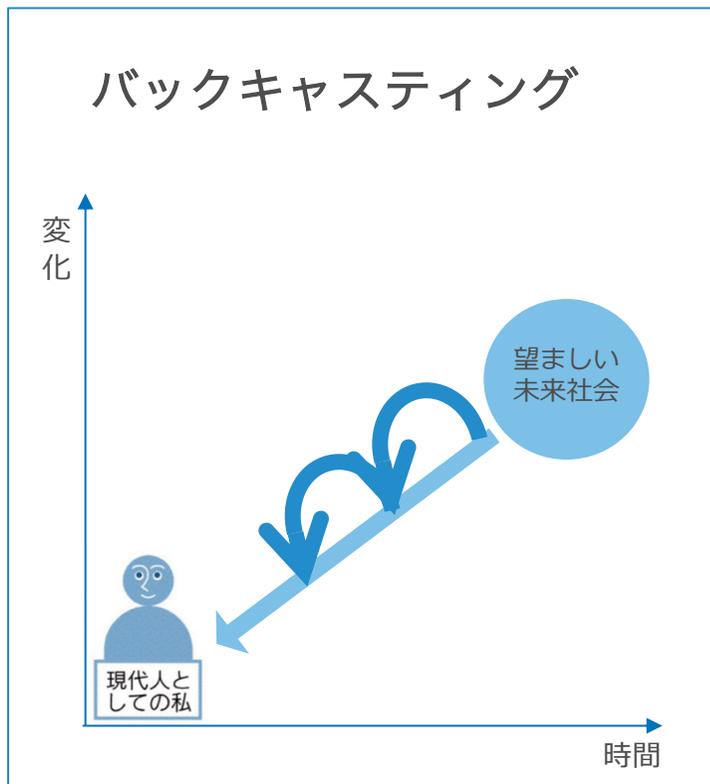
---

**松本市における実践を通じたFD手法の開発で  
強く意識したこと**

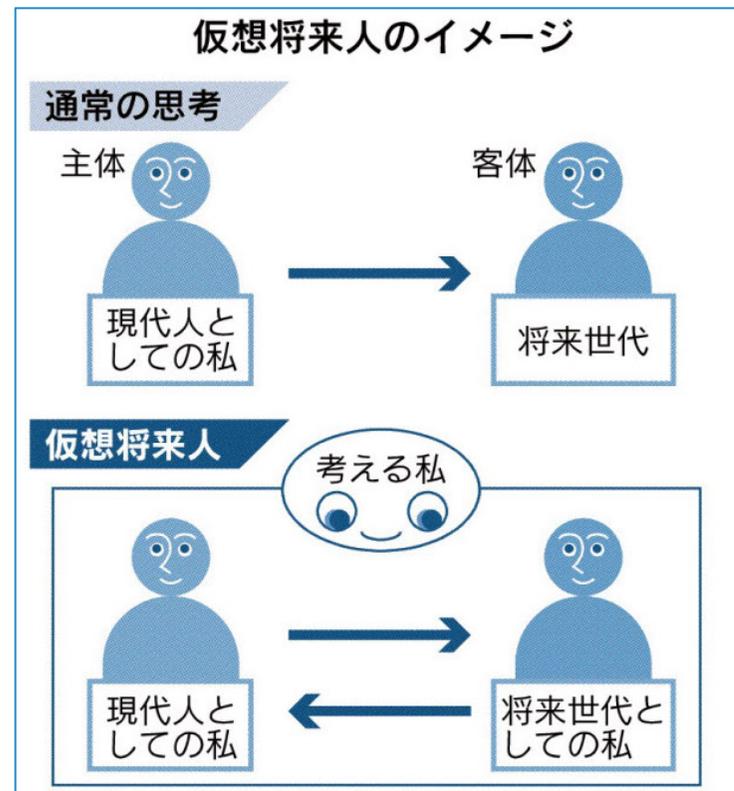
**フューチャー・デザイン  
ワークショップの構造化**

# 〈将来を現代世代から慮ること〉と 〈仮想将来世代となってものごとを考えること〉は異なる

## 将来を現代世代から慮ること

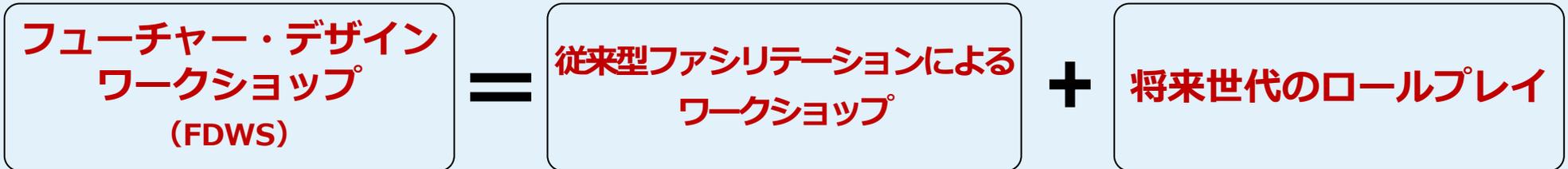


## 仮想将来世代となってものごとを考えること



右の図は、小林慶一郎「未来の利益いまだう代弁？」（『日本経済新聞』2018年2月13日）より

フューチャー・デザイン・ワークショップとは（定義）



## フューチャー・デザイン・ワークショップの構造化

- 参加者が〈仮想将来世代となってものごとを考えること〉ができるようにワークショップをデザインすること
- “正しく” 仮想将来世代に変貌させる仕掛けを埋め込むこと

**松本市における実践を通じたFD手法の開発  
最大の特徴**

**地域政策研究会の組織化  
ワークショップの構造化**

## 松本市・NPO-SCOP・信州大学 で 地域政策研究会 を組織

**活動期間** 2016年2月～現在

・当初は2年計画／2018年度に継続確認

**メンバー** 松本市若手職員（10名）＋ NPO法人 SCOP（1名）  
＋ 信州大学経法学部（研究者 5名）

**活動実績** 研究会 10回以上 不定期Mtg 10回以上

**FDWS** 2017年度 松本市新市庁舎建設ワークショップ

・庁内ワークショップ（2017年11月8日＋17日＋29日）

・市民ワークショップ（2018年1月27日＋2月4日）

2018年度 次世代交通ワークショップ

・市民ワークショップ（2019年2月3日＋3月10日）

# 研究と実践の往還／共に学びながらFDを社会実装する

フューチャー・デザインの画期的なところは、資源が制約された環境において持続可能な社会制度を作るために、未来の利益代表者を仮想的に用意することにあります。これによって、これまでの政策決定とは異なるアプローチをとることができるようになり、将来世代への負債を最小限にする政策決定をとることができます。また、松本市の政策の根幹となる「地域づくり」「コミュニティヘルス」といった定量的なアプローチが難しいテーマにおいても、フューチャー・デザインのアプローチが活かせるのではないかと考えています。←

フューチャー・デザインのアプローチは、研究と実践を往還することではじめて意味を持つものです。今回、新たに「地域政策研究会（仮称）」を立ち上げることで、大学の研究者だけではなく、行政の皆さんや民間の皆さんと一緒に学びながら、松本市の未来を見据えた政策を共に考える場を育てたいと考えました。←

「地域政策研究会（仮称）の立ち上げについて」（2016年2月23日／文責 井上信宏）

# 将来世代になりきる能力を活用して持続可能性を根源から考える

この問題に正面から取組む注目すべき試みが胎動している。それは、現役世代からランダムに選出された将来世代になりきるグループを作り、現役世代の代表グループと交渉するという仕組みである。このやや荒唐無稽な響きのある試みの基盤には、近年発達が目覚ましい、確固たる2つの学問領域がある。ひとつは行動・実験経済学であり、他のひとつは認知科学・脳神経科学である。行動経済学は、実験手法を駆使して、前例のない新しい制度の機能を検証することができる。そして、「なりきる」という手法は、人類が社会性を高度化し、進化の過程で他の霊長類から決別できた最大の要因である脳内におけるミラーニューロン (Mirror Neuron) の働きとして近年注目されており、Embodied Simulation (Gallese & Cuccio 2015) と呼ばれている。←

この試みは日本の行動・実験経済学を牽引してきた西條氏の研究グループによって、「Future Design」(西條編 2015) の名の下に、大阪吹田市と岩手矢巾町において試験的に開始され、この試みが実質的な解決能力を備えていることを証明しつつある。地方中核都市である松本は、上記の2地域と立地・産業・文化のすべての側面で先鋭的に異なる特徴を兼ね備えており、制度の機能性を検証するために絶好のサンプルとなるとともに、先陣を切って先進的な取組みを行うのにふさわしいと考えられる。そして何よりも、現役・将来世代の間に立って、可能な選択肢の提示や客観的技術・知見の提供を担う質の高い行政の役割は、Future Design を健全に機能させ実質化するためにその重要性をどんなに強調してもしすぎるということはないのである。←

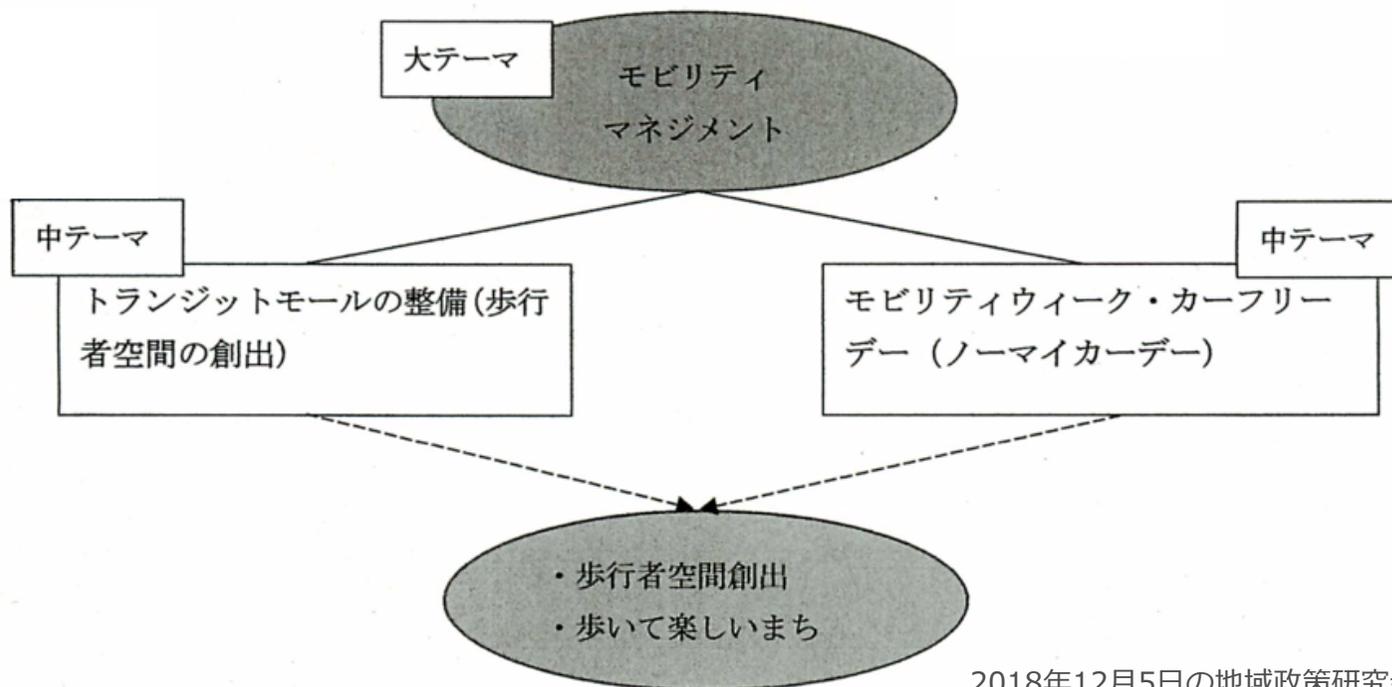
「地域政策研究会 (仮称) の立ち上げについて」に添付した「趣意書」より (2016年2月23日 / 文責 西村直子)

2018年5月18日	● 事前打ち合わせ	
2018年5月23日	● 第9回地域政策研究会	<b>FDWSのテーマを決めるブレインストーミング</b>
2018年6月21日	● 第10回地域政策研究会	
<hr/>		
2018年8月3日	● 事前打ち合わせ	
2018年9月25日	● 第11回地域政策研究会	<b>FDWSのテーマの共有とWSのアイデア出し</b>
<hr/>		
2018年12月5日	● 番外の地域政策研究会	
2018年12月20日	● 事前打ち合わせ	<b>FDWSのワークショップの目的を決める</b>
<hr/>		
2018年12月21日～2019年1月7日 FDWSデザイン作業		
2019年1月7日	ワークショップ設計書Ver.1.0	
2019年1月15日	● 事前打ち合わせ	
2019年1月17日	ワークショップ設計書Ver.2.0	
2019年1月21日・22日	● ファシリテーター研修+模擬WS	
2019年1月30日	ファシリテーター・グラフィッカー向けワークショップマニュアルVer.1.0	
<b>2019年2月3日</b>	<b>第1回次世代交通WS</b>	<b>FDWSのワークショップデザインの構造化</b>
<hr/>		
2019年2月14日	● 事前打ち合わせ	
2019年2月22日	● ファシリテーター研修+模擬WS	
2019年3月6日	ファシリテーター・グラフィッカー向けワークショップマニュアルVer.3/5	
<b>2019年3月10日</b>	<b>第2回次世代交通WS</b>	
<hr/>		
2019年3月25日	● 第12回地域政策研究会	<b>ファシリテーションのフォローアップ</b>

## 松本市を歩く速度で考えるワークショップ

人の集まるまち、人の行きかうまちを未来の視点で考える

イメージ図：



2018年12月5日の地域政策研究会番外編のファシリテーション・グラフィックを持ち帰り、テーマ担当課・WS担当課が議論して、12月20日に持参した資料より

### 担当課の想い

- ・「中心市街地の歩行者空間創出、歩いて楽しいまち」という方向の議論になって欲しい。
- ・実際の議論は、まち歩きの結果や、参加者の生活目線で話してもらいたい。

## 市役所

(テーマ担当課)

- テーマの基礎データの収集整理と可視化作業
- テーマの課題プレゼンの準備作業

## 市役所

(ワークショップ担当課)

- 未来年表の作成作業
- 参加者の抽出と広報
- ワorkshop会場確保・裏方仕事

## 地域政策研究会

- FDに基づく個別ワークの進行案の検討
- ファシリテーションの準備

## SCOP

- ワorkshop設計書の作成
- FDに基づく個別ワークの進行案の検討

## 信州大学

- 仮想将来世代に変貌させる仕掛けの開発
- FDに基づく個別ワークの進行案の検討
- ワorkshopデザインの調整
- 時間選好・リスク選好調査の準備

# 松本市を歩く速度で考えるワークショップ

～人の集まるまち・人の行きかうまちを  
未来の視点で考える～

2019.01.07 ワークショップ設計書ver1.0



## 松本市を歩く速度で考えるワークショップ

～人の集まるまち・人の行きかうまちを  
未来の視点で考える～

2019.02.03 1日目 ワークショップマニュアル



## 第2日目 ワークショップマニュアル (全18ページ)

## 第1日目 ワークショップマニュアル (全21ページ)

## 松本市を歩く速度で考えるワークショップ

～人の集まるまち・人の行きかうまちを  
未来の視点で考える～

3/5 version

2019.03.10 2日目 ワークショップマニュアル



# 2019年の実践を通じたFD手法開発と時間選好・リスク選好に及ぼす将来世代インパクト ～松本市における実践と佐久穂町における準備作業～

---

井上信宏

信州大学経法学部

〒390-8621 長野県 松本市 旭 3-1-1

信州大学経法学部 研究棟 409研究室

E-Mail: inoue@shinshu-u.ac.jp

このスライド資料に引用した「ワークショップ設計書」「ワークショップマニュアル」は、地域政策研究会の議論を元にSCOPが集約・執筆し、さらに地域政策研究会メンバーによる加筆修正を経て作成されたものです。

このスライド資料は、東京財団政策研究所のワークショップのために用意した未定稿です。